



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第 663 号(一部抜粋)



平成 28 年 12 月 27 日



◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 集成材、単板積層材及び合板の JAS 規格への保存処理の追加 ◆



近年、公共建築物等において集成材等の JAS 保存処理製品を求められる機会が増えてきていること、また、住宅用の土台についても製材だけではなく集成材等へ保存処理を施す事例が増えていることから、集成材等の JAS 規格に保存処理の項目を追加してほしいという要望が寄せられるようになりました。

保存処理は防腐・防蟻(ぼうぎ)処理とも呼ばれ、木材を薬剤処理することにより、木材を腐朽させる菌類やシロアリによる生物劣化を抑制し、建築物をより長く利用することができるようになります。

いままで、JAS では製材及び枠組壁工法構造用製材の規格のみでしか保存処理が規定されておらず、集成材、単板積層材及び合板については、公益財団法人日本住宅・木材技術センターが行っている優良木質建材等認証(AQ 認証)により製品が認証されていました。

FAMIC が事務局を務めている集成材、単板積層材及び合板の 3 品目の JAS 規格確認等の原案作成委員会では、2 年間をかけて保存処理の追加について検討してきました。今後、集成材等の JAS 規格に保存処理の項目が追加された場合は、住宅の長寿命化のために使用できる建築部材の選択の幅が広がることを期待できます。